

まつしま

議会だより

第158号

令和6年5月1日発行
宮城県松島町議会



みんなでお花見（上竹谷分館）

- ◇ 予算はどう使われるのか…………… P 2
- ◇ 新年度予算を問う…………… P 3
- ◇ 議案審議…………… P15
- ◇ 6人の議員が熱弁（一般質問）…………… P20
- ◇ 町民インタビュー…………… P28

令和6年
第1回 定例会

[3月1日～3月18日]

移住・定住促進施策の継続 ～選ばれるまちの実現に向けて～

厳しい状況が続く町の財政状況で、柔軟かつ多様化に対応しながら全町一体となったまちづくりを展開していきたい。

施政方針を全て読みたい方は町のHPからどうぞ



松島町 HP→「町長の部屋」
→「こちら町長室」
→「施政方針」

「活力あるまち・松島」の実現に向けて前進
～令和6年度施政方針～

櫻井公一町長は、令和6年度の施政方針を次のように示した。

松島イノベーションショールズ(初原地区)が着手され、新たな企業の進出や産業の更なる活性化に加え、働く場や関係人口の創出に繋げられる町の重点戦略の基盤となる施策と捉えている。また、再生可能エネルギーを地産地消する「マイクログリッド」が導入され、町が目指すゼロカーボンシティに大きく寄与するものと期待している。企業誘致による従業員の新たな雇用や定住においても、独自の定住補助金事業や若年層の移住支援金を継続して実施していく、「住み続けたい。住んでみたい。」と思われる「選ばれるまち」の実現に向けて取り組むほか、町立保育所と幼稚園の再編計画や学校施設のあり方を検討し、子どもの目線に立った教育の環境づくりと、優しいデジタル社会の構築を目指し、町民の声に伝えるDXにも取り組んでいく。

令和6年第1回松島町議会定例会が令和6年3月1日から18日までの18日間の日程で開催され、開会初日には新年度の施政方針が示された。
町長から提出された議案28件(条例制定及び一部改正・補正予算等)、令和6年度の松島町各種会計予算8件は、慎重な審査を経てすべて原案のとおり可決した。
一般質問は、6人の議員が各々の視点から町政について質問した。

令和6年度施政方針と予算の主な事業

<p>心地よく元気な暮らしを支えるまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 町営バスの業務委託、バスロケーションシステム導入 一般住宅耐震診断及び耐震改修工事等 通学路等危険ブロック除去補助 	<p>人・まち・自然、ふれあい安らぐまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化対策ガイドブック作成 カーブミラーの更新 防災訓練、自主防災組織の支援、備蓄品の充足 防犯灯LED照明の更新 	<p>心も体もすこやかに笑顔あふれるまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康増進総合計画の策定 産後ケア事業の拡充 不妊治療等の自己負担分の補助 こども家庭センターの相談支援
<p>自然と歴史に学び、豊かさを育み広げるまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 小中学校の防犯カメラ設置 部活動の地域移行の段階的移行の支援 心のケア、不登校の支援 埋蔵文化財の公開講座 	<p>おもてなしの心を育み、愛されるまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 松島湾の環境保全のPR 教育旅行誘致事業 観光交流協定市町との連携した観光交流事業等 	<p>豊かな地域で仕事・暮らしがたがむぎ合う心かようまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 高収益作物等の転換、環境保全米の生産補助 自然観察体験学習の実施 農業用ため池ネットフェンス設置 磯崎漁港機能保全事業等

令和6年度の各種会計予算

会計名	令和6年度	令和5年度	前年度当初比	
一般会計	62億1,600万円	64億9,800万円	▲4.3%	
特別会計	国民健康保険	17億8,462万8千円	18億9,253万2千円	▲5.7%
	後期高齢者医療	2億5,906万1千円	2億3,634万2千円	9.6%
	介護保険	20億3,136万4千円	20億8,918万8千円	▲2.8%
	介護サービス事業	1,132万1千円	1,071万8千円	5.6%
	観瀾亭等	1億345万円	1億1,426万円	▲9.5%
松島区外区有財産	-	42万円	-	
水道事業会計	7億2,425万6千円	8億8,354万3千円	▲18.0%	
下水道事業会計	14億6,634万7千円	15億1,775万2千円	▲3.4%	
合計	125億9,642万7千円	132億4,275万5千円	▲4.9%	

町長の考えを問う

総括質疑



高橋 幸彦
議員

人口減少問題

問 人口減少が止まらない。長期総合計画で町の人口は2025年までに1万4千人を目標としているが、1万3千人を切るような勢いで進んでいる。

町長 今回の施政方針の人口増対策として、愛宕駅周辺等について見直しを図ることとしている。次期長総でも1万4千人の目標は維持したいと思っている。目標人口を下げることは、ギアをマイナスに入れることになるので、あくまで私はプラスにしていきたい。

団体役員等のなり手不足

問 人口減少によって地区役員はじめ各種団体の役員や民生委員児童委員のなり手不足が著しいが対策は。

町長 この問題は松島町だけではなく県内各自治体すべて同じように悩んでいると思う。町としては、どうしても行政区長を頼りにお願いしていくほかない。

人口の社会増対策は

問 ここ数年、松島町は社会増が続いている。以前行っていた「わくわくカップリングパーティー」も効果があつたと思うが、今後の対策は。

町長 「わくわくカップリングパーティー」は商工会青年部で主催していたが、青年部のほうから、はじめをつけたということ終了した。今は宮城県青年会館のお見合い方式のもの、みやぎ結婚支援センターの「みやマリ！」という登録制度があり、町も参加している。

第五小学校の複式学級化は

問 第五小学校を小規模特認校として申請するのか。

町長 令和6年度に2回目のアンケートを計画しており、なるとすれば令和7年度からになる。

教育長 現在、第五小学校は複式学級になっているが、県に申請して1人先生を加配してもらい何とか1学級1人の先生の体制となっている。

加配の先生は1人なので令和7年度から完全に1学級は複式学級になってしまう。

その他、次の質問をした。
・町の財政状況、カワウ対策について

総括質疑



小澤 陽子
議員

町民バスの運行について

問 バスロケーションシステムの周知方法は。

総務課長 バスの中の表示、ホームページ、広報誌で周知する。

問 スマホを利用しない高齢者への利用促進は。

町長 高齢者向けのスマホ教室を実施する。

森林環境譲与税について

問 森林環境譲与税利用による、森林機能回復事業について町長の考えは。

町長 地域により森林の環境が違うので、この税を上手に利用し、町で管理する山林から整備していく。

防災指導員について

問 防災指導員の育成とねらいは。

危機管理監 区長、自主防災組織のリーダーの方を対象として講習等々を実施した。令和5年で211人。

資格を活用し自主防災訓練のリーダー役、講師役となってもらう。
松島湾アマモ再生プロジェクトについて

問 松島湾のアマモ再生による、藻場の増減は町で把握しているのか。

町長 なかなか目に見えて出てこないが、再生の活動が盛んになればいいと思う。

問 プロジェクトで、町でやっている部分は。

産業観光課長 福浦橋で実施するの、場所を提供している。

問 種を採取する作業はやっていないのか。

産業観光課長 実施するNPOが準備している。

問 町長の考えとして、これからも続けていくのか。

町長 町は、NPOのアマモプロジェクトに何らかの形で参加し応援する。



プロジェクトの様子



菅野 隆二
議員

令和6年度の新規事業について

問 令和6年度はゼロ予算だが、新規の事業として考えていることはあるのか。

町長 子ども・子育て会議のバージョンアップにするかなども含めた町内の学校の在り方などを検討する諸会議の立ち上げを考えている。

問 県内初の保育園留学導入についての進捗状況は。

町民福祉課長 町としての課題と、町が取り組む場合の考えを示して、子ども・子育て会議の委員から意見を求めていく。その意見のすり合わせを行い、実現できるかどうかの検討を始める。

問 学童保育の弁当注文制度が令和6年度の夏休みから開始されることになった経緯は。

町民福祉課長 令和6年度からの指定管理者が独自の取り組みとして長期休暇中の弁当の委託を実施している実績と、こども家庭庁からの呼びかけも踏まえ開始に至った。

不妊治療への助成について

問 町独自で実施する特定不妊治療費助成事業の内容は。

健康長寿課長 一般の不妊治療と生殖補助医療の自己負担分についての補助を町独自で行う。お子様を望んでいる町民へ町として力添えをしたと考えている。

「広報まっしま」について

問 「広報まっしま」が以前と比べると見やすくなったと感じる。制作に当たって気をつけていることや今後の方向性は。

企画調整課長 町民の皆様が見やすい広報紙を最大限目指している。令和6年度より広告のページを設けながら新たに財源を確保しつつ、更により良い広報紙を作っていきたい。

官民連携の必要性について

問 民間の活力の導入や民間資金の活用に対しての町の考えは。

町長 民間との連携は常に頭に置いている。町と民間がしっかりと組んでやっていく必要性が今まで以上に求められてくる。各担当課もアンテナを常に張っている。

その他、次の質問をした。
・新たな土地利用、明治潜穴の雑木撤去、学校給食の提供、こども未来アカデミー、自治体DXへの取り組みなどについて



中島 一都
議員

観光について

問 令和5年の観光客入込み数が295万人とコロナ前と同等の水準まで回復しており、観光振興計画の回復目標300万人に近い数字までできているがこの結果を受け、どの様に分析し、令和6年はどの様に推移すると見込んでいるか。

産業観光課長 ここ数年は300万人で推移していくと予測している。インバウンドについては観光資源に高付加価値をつけて外国人の方々を求める魅力につなげ、地域経済の好循環を生むと考えているが、東京、関西に比べ思ったほど来てもらえていない。

問 滞在型旅行者の誘客、滞在型観光地とは具体的にどの様なものか。

産業観光課長 これまでは宿泊施設、観光施設、飲食店と流れが点だったが、面にする事で価値が生まれ1つの旅行商品となる。滞在型観光というのはその様な面で地域の経済を活性化するものと考えている。

問 奥松島と松島を結ぶ定期船の航路開設について本町は東松島市との様な連携を図ったか。

町長 交通社会実験の期間だけ運航し大変評判が良かったと伺っている。今後、東松島市、関連団体と調整を取る必要があるが、近いうちに新航路が開設されると考える。本町としても大変良いことで協力していきたい。

心のケア、不登校対策について

問 小中学校の不登校の児童、生徒数が昨年の2月で小学校3人、中学校16人だったが本年の状況と対策は。

教育課長 昨年とほぼ同数で小学校3人、中学校19人となっている。生活環境要因を中心に相談を受けるソーシャルワーカーと併せ、学校ではスクールカウンセラーが個別に相談を受け、児童の多方面にわたる相談に対応しながら学校復帰に向けて取り組んでいる。

その他、次の質問をした。
・部活動の地域移行について

町長の考えを問う

総括質疑



米川 修司
議員

子ども家庭センターについて

問 母子保健事業と児童福祉事業を一体化した「子ども家庭センター」の主な拠点はどこか。

町長 センターの設置はあくまで努力義務であるが、引き続き町民福祉課子ども支援班と健康長寿課健康づくり班の両方が担っていく。

問 新年度地方財政計画によると、子育て相談室のような子ども・子育て支援機能強化に係る施設整備や、留守家庭児童学級支援のような地方独自の子ども・子育て施策が推進されているが今後の見通しは。

町長 新年度は「子ども家庭センター」のあり方を協議し構築する年度となるが、国から県を通じて指示される今後の対応について詳細を把握し、可能な範囲内で予算を確保しながら必要に応じて事業の充実及び見直しに取り組んでいく。

プラグインハイブリッド車（PHEV）の導入について

問 不法投棄防止の巡回車両としてPHEVを導入するが、他の公用車に関する見通しは。

副町長 PHEVの導入はゼロカーボンシティへ向けての大きなスタートであるが、他の公用車については耐用年数を考慮しつつ、リース契約も含め入替え時に順次検討していく。

子ども未来アカデミーについて

問 従来の子ども版タウンミーティングは新聞に取り上げられるほど好評であるが、新年度より「子ども未来アカデミー」と呼称を変えることになった経緯は。

町長 令和3年度より住民参加の一環として取り組んでいるところ、そろそろ名前を変えた方がいいという話になり、より響きのよいネーミングを検討した上で名付けた。

問 小学校における「子ども未来アカデミー」の延長線上で、中学校においては主催者教育を目的として子ども議会に取り組んでみてはどうか。

教育長 現在は全員が参加することによって教育的な効果を得られているが、中学校の場合は限られた子どもによる限られた議会になるのではないかと危惧している。



今野 章
議員

根廻初原線、全体事業費は1億3,600万円

問 都市計画道路・根廻初原線の道路整備は、物価高騰などもあり、予算増が考えられるが、今後の見通しは。また、財源として企業版ふるさと納税が期待されているが、今後の取り組みは。

副町長 新年度は500万円の計上だが、5年度の繰越事業もあり当初予算では見込めなかった。今後も国等と協議し財源確保に努める。財源に企業版ふるさと納税をあてるため、町として取り組む。

建設課長 根廻初原線の全体事業費は、現在の計画で1億3,600万円を見込んでおり、これまでの予算の半分が社会資本整備総合交付金となっている。

問 昨年の仙南仙塩及び大崎広域水道の受水費改定で受水費が下がる。改定前後の負担差額は。また町民負担の軽減は。

水道事業所長

新年度当初予算ベースで大崎広域が255万円、仙南仙塩広域で254万円、合計509万円の減額。

町長 二子屋浄水場や配水池等への投資もあり、軽減は様子を見たい。

内水排水対策は

問 地球温暖化でCO2排出抑制など新年度の取り組みがある。一方で温暖化は豪雨など気候変動も伴う。内水排水対策についての考えは。

副町長 高城町駅周辺の排水と高城ポンプ場の位置や規模を県等と協議・検討を進めるため500万円の予算を計上した。

また防衛省の予算が期待できないため、松島駅前・間坂は、特定都市河川高城川水系の雨水排水対策の中でエリアに取り込むため、調整池など進めやすくなる。

初原方面も防衛省ではなく、同様に高城川水系の田中川の取り扱いで議論している。ルートも決まっております。今後、詰めていきたい。

問 シルバー人材センターの補助金等の引き上げが必要ではないか。対応は。

町長 予算は例年の通り。人件費相当分など町発注分については、金額が10%以内で上がる対応である。



赤間 幸夫
議員

防災について

問 松島消防署の位置や改築・新築への考えは。

町長 2市3町で広域消防事務組合を運営しており、現在、塩釜消防署の建替え計画で議論している。その次が松島消防署であり、計画等は未定である。

財政見通し

問 厳しい財政状況から、健全な財政運営を進めていくために考えられている事柄は、どのようなものか。

町長 町が町民にしっかりと説明できる身の丈に合った予算になっていないとうまくいかない。

副町長 経常収支が95.7%。財政的に厳しい状況にある。まず職員が認識し、税収、国の補助等にアンテナを張り取り組んでいくこと。今までの事業も、縮小、スリム化、廃止、統合を、十分見定めていく。

問 松島イノベーションションヒルズにおける企業誘致のもたらす経済効果と税収見込みは。

副町長 具体的に張りついてくる業者等が確定すれば、大体固定資産税や償却資産税の試算はできるが、現段階では試算はしていない。

農業について

問 現在進行中の地域計画に対する考えと合わせ、町の基幹産業である農業の将来は。

産業観光課長 農地利用の将来像を描く為に地域計画、目標地図の作成中である。10年後の農業経営では、現状維持も含め農業を続けていきたい方が約45%、やめる方が約20%、未定の方が約35%という統計になっている。

町では、町外農業法人の参入と合わせ町内農業法人化による大規模農業経営が進むものと考えられる。現在、国の交付金等を活用して米作から高収益作物に転換して行くことなどを受け、支援方策を検討している。

その他、次の質問をした。
・防犯、町民バス運行等について



高橋 利典
議員

愛宕駅周辺土地利用は

問 都市計画マスタープランでは根廻・初原地区も含まれるとしているが、町の考えは。

町長 土地利用計画では県の指導もあるため、一概に町が判断するわけにはいかない。拡大しない範囲内で確実に進めていく。

マイクログリッド(※)について

問 松島イノベーションションヒルズに進出する企業に対しての施設と思うがその内容は。

企画調整課長 大郷町で約15メガワットの太陽光エネルギー発電施設が設置される。そこで発電した電気はどんぐり発電所を経由して松島イノベーションションヒルズへ供給される。

問 その電気を町民に還元する考えは。

町長 あくまでも松島イノベーションションヒルズの中の地産地消エネルギーということで取り組んでいる。企業誘致の手段として、話題性があると捉えている。

※マイクログリッドとは

エネルギーを地産地消する仕組み

その他、次の質問をした。
・プラグインハイブリッド車の導入、鳥獣被害対策について

交通社会実験の結果は

問 仙台松島線の拡幅改良整備工事や初原バイパスの延伸を県に要望していくとしているが今後の県との協議は。

町長 国道45号の通過車両の低減には周辺道路の迂回機能を果たすような整備であるべきと考えている。計画案はいろいろ出ているので、三陸道も含め総合的に年月を定め整備を進めるよう県に要望していく。なお、交通社会実験の検証結果を令和6年度中に議会へ示していく。



片山正弘
議員

定住について

問 豪雨による内水対策に不安があり安心して暮らせる町ではない。

定住促進を進める過程で避けられないのは雨水対策であり、早急に解決策を示すべきではないのか。

副町長 高城町駅前周辺の雨水対策は、令和5年度に県と協議している。

高城新町排水ポンプ場は、現能力の70%程度であり、100%にするためには、ポンプ及び施設の見直しに概算で20億円と試算している。高城町について、令和5年度では予算計上はできなかったが令和6年度には当初予算で概算設計費を計上した。財源については、高城川の特定都市河川に認められたので、財源が付きやすくなると思う。雨水対策は永遠のテーマであり肅々と対応していく。

防犯カメラの設置について

問 小学校・中学校に防犯カメラ設置予算が計上されたが、第一幼稚園は女性職員だけであり、第一小学校から離れた場所にある。防犯面で学校との連絡網に不備があるため、防犯カメラ設置は必要ではないか。

町長 今回は、小学校・中学校の防犯カメラ設置予算のみであり、幼稚園までは考えていなかったため、今後については、定例会以降に教育委員会と検討する。

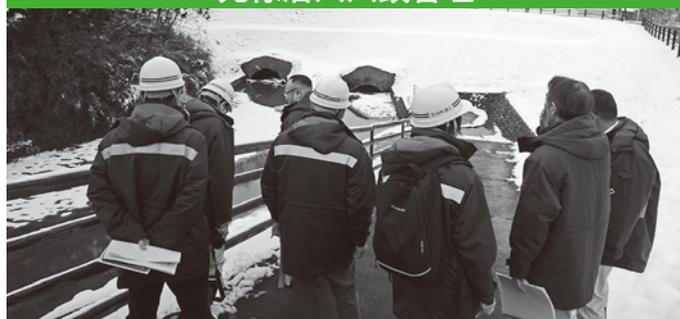


総括質疑

予算審査特別委員会 現地調査

3月8日に現地調査を行いました。以下の現地のほか、小中学校防犯カメラ設置予定箇所の確認を行いました。

元禄潜穴穴頭管理



管理状況の確認

都市計画道路根廻・初原線道路築造工事



工事の進捗状況の確認

町民の森円形広場遊具撤去



撤去予定遊具の確認

保健福祉センター大規模改修工事



工事の進捗状況の確認

第1分科会 第1分科会が審査する課

議会事務局 / 総務課 / 選挙管理委員会 / 企画調整課 / 財務課 / 産業観光課（観瀾亭等特別会計） / 建設課 / ※（ ）内の会計を含む。

企画調整

主なつかいみち

広報公聴費	806万円	(111万円)
企画費	2,364万円	(680万円)
電子計算費	6,428万円	(△1,759万円)
地方創生費	1億564万円	(△4,999万円)

問 書かない窓口・行かない窓口の導入についての状況は。

企画調整課主査 書かない窓口については、マイナンバーカードを読み取ってその情報を申請書に印字するもので検討している。実際に役場へ設置してトライアルした。町民が操作するタイプか、職員が操作するタイプかのどちらかを導入する予定である。行かない窓口については犬の登録・土地の使用のような個人証明を必要としない手続きや、パブリックコメント・アンケートのようなものにも活用できるサービ

問 過疎地域持続的発展計画の進捗管理、目標値については。

企画調整課次長 長期総合計画と整合を取るものなので長期総合計画の改定と合わせて評価をしていく。

問 電子計算費の1,700万円減の理由は。

企画調整課主査 情報システムの標準化のスケジュールが令和7年度となっており、今回についてはその時期まで



現在の設備を延長する再リースの予算となっているため、一時的にコストが下がった状態である。

書かない窓口・行かない窓口の導入は

スの導入を想定している。

問 歩道橋等除雪業務の発注基準と最近の降雪量を踏まえての基準見直しの予定は。

環境防災班長 発注基準は10cmで年度内2回分の除雪を見込んでいます。除雪発注基準を下げても良いとは思いますが、判断が難しい。

問 松島町のラスパレス指数（地方公務員の給料水準を示す指標）の状況は。

総務管理班長 数値は94台と去年より上がったが、県内での順位は下から9番目で前年と変わりなかった。

総務・環境防災

主なつかいみち

職員研修経費	253万円	(△24万円)
集会施設指定管理経費	206万円	(5万円)
交通安全費	800万円	(8万円)
町民バス運行費	4,639万円	(1,127万円)
塵芥処理費・し尿処理費	2億9,009万円	(3,614万円)
消防費	2億7,374万円	(△1,101万円)

※（ ）内は前年度対比



町民バス

町民バス運行の外部委託について

問 町民バスの運行が業者に委託されることによって変わる点はあるのか。

環境防災班長 基本的には現状の運行内容と変わらないが、年4回の乗降調査を実施し、結果を踏まえながら路線や時刻の見直しを図っていく。

問 ハラスメントに対しての規程はあるのか。

総務管理班長 令和5年度にハラスメント防止対策推進員というものを組織し、各課から推進員を指名している。ハラスメントについての講習や防止について話し合う場なども設けている。

建設・施設管理

主なつかいみち

漁港管理費	1,432万円	(51万円)
道路橋梁費	9,627万円	(105万円)
河川費	274万円	(△18万円)
町営住宅・木造住宅耐震経費	1,065万円	(△27万円)

問 松島大橋の残地や旧道はそのままなのか、なんらかの利活用はしないのか。

建設課長 工事はすべて完了している。旧道については、漁協側は出入りを考えそのまま。ガソリンスタンド側は駐車場等に活用できないかを考えている。

問 草刈りの軽減対策として防草シート設置の計画はどうなっているか。

管理班長 効率的に優先度の高い箇所から実施していく予定であり、予算がある限り進めていきたい。

防草シート設置の計画は

問 上初原の空き家解体や高城住宅の老朽化に伴う今後の展望は。

管理班長 上初原住宅の解体については、令和6年度から部分的に行うか、全体的に行うか検討していく予定である。

高城住宅については、入居者の高齢化も進んでいるので、バリアフリー化も含めて長期総合計画で検討していく。

農林水産業・商工・観光

主なつかいみち

農業振興費・農地費	6,626万円	(1,962万円)
園芸振興費・林業振興費	5,339万円	(582万円)
商工業振興費	5,506万円	(△1万円)
観光費	6,048万円	(△322万円)



新規就農者に町独自の支援を

問 新規就農者育成総合対策について3年間の国の補助が終わった後も町独自の支援を検討すべきではないか。

産業観光課長 予算にも様々な優先順位があるが、検討していく。

問 鳥獣被害が町内でも多くなっている。対策はあるのか。

産業観光課長 他市町村を参考に前向きに検討していく。

問 福浦橋は適時修繕を行っているが、架け替えということはあり得るのか。架け替えのための財源措置はしているのか。

観光班長 コンクリートのRC構造物は100年持つといわれているが、大きな地震が来れば影響は避けられないと考える。掛け替えに約10億円かかると思われ、現段階で基金として2億5千万円ほどある。

財務・税務

主なつかいみち

財産管理費	8,555万円	(635万円)
ふるさと納税費	7,329万円	(0.3万円)
賦課徴収費	4,567万円	(△99万円)

第2分科会 第2分科会が審査する課

町民福祉課（国民健康保険特別会計・後期高齢者医療特別会計）/健康長寿課（介護保険特別会計・介護サービス事業特別会計）/教育委員会/水道事業所（水道事業会計・下水道事業会計）/※（ ）内の会計を含む。

町民サービス・福祉・こども

主なつかいみち

戸籍住民基本台帳費	5,033万円	(△83万円)
障害者福祉費	4億3,707万円	(1,017万円)
保育所費	1億5,529万円	(△6,323万円)
子育て支援事業費	1億7,516万円	(△23万円)



政府広報オンラインより

水道・下水道

主なつかいみち

水道事業会計	7億2,426万円	(△1億5,929万円)
下水道事業会計	14億6,635万円	(△5,141万円)
合併処理浄化槽設置事業	508万円	(△0.2万円)

※（ ）内は前年度対比

工業団地の下水道延伸について

問 宮城県内の11市町村で人工衛星を利用した漏水調査を実施している。本町でも導入しては。

水道事業所副所長 メーター自体がかなり高額で、それを導入した場合水道料金にはね返ってくるため難しい。

問 初原イノベーションヒルズの下水は町で処理するのか。

水道事業所副所長 汚水については松島浄化センターで処理する。

問 下水道は初原イノベーションヒルズまで延伸するが、近隣の地区でも延伸するのか。

水道事業所副所長 区画整理組合で下水道の汚水管は全て施工する。町は宮ノ入大橋のところまで施工し、組合と接続・合流するため、町が延伸して行くわけではない。

民生委員のなり手不足に関する対策は

問 マイナ保険証の導入が進む一方で、新事業として多剤服用者に対し保健指導を実施するのはどうしてか。

町民サービス班長 マイナ保険証を所する町民のうち実際に使用しているのは約4%に過ぎないため、従来の保健師による働きかけに加えて、ヘルスアップ補助金を活用した新事業としてより手厚く取り組みたい。

問 民生委員のなり手不足について、今後どのように対策していくか。

町民福祉課長 クリアファイル等を配

布して民生委員の活動を紹介することに加えて、現在は県の補助金を満額支給に充てていることも周知しながら人員補充に努めていく。

問 子どもの数が年々減少する一方で、子ども医療費支給額が年々増加している要因は。

町民福祉課長 新型コロナウイルス感染症が2類から5類へ移行して医療費が自己負担になったことに加え、今年度はインフルエンザが流行したこともあって増加している。



宮ノ入大橋

令和6年度予算 どう使われるのか

各課に問う

学校教育・生涯学習

主なつかいみち

小学校費	1億2,063万円	(664万円)
中学校費	4,879万円	(37万円)
社会教育・保健体育費	2億4,749万円	(734万円)
幼稚園費	6,168万円	(△940万円)



松島第五小学校

健康長寿・介護

主なつかいみち

老人福祉費	3億3,242万円	(1,081万円)
保健福祉センター管理費	1億8,644万円	(△1億1,633万円)
介護保険特別会計	20億3,136万円	(△5,782万円)

地域介護予防活動について

問 新規事業の北部地区介護予防と買い物支援事業の取り組みはどのようなものか。

健康づくり班長 下竹谷・北小泉地区の70歳以上の方を対象に介護予防と買物計画している。内容は、自宅からタクシーで高城避難所に移動して脳トレや軽体操に参加してもらい、それが終わったら近くのスーパーで買い物をして帰宅する。昨年度は試行として8回開催し、男性の方も参加していた。

問 敬老記念品のトートバックは好評だったが、喜寿祝いの式典は開催しないのか。

健康長寿課長 敬老会・記念品について限られた財源で考え直し、他の老人福祉事業と精査しながら検討していく。

小中学校への防犯カメラ設置について

問 中学校の防犯カメラ設置について昇降口だけが校舎裏への設置はないのか。

教育課長 限られた予算の中、必要最小限で最大の効果が得られる場所を選択した。

問 いじめにより不登校になっている児童はいるのか。また学校ではSNS等での誹謗について注視しているか。

教育課長 いじめの報告はないが小さなトラブルはあり学校で対応している。またSNSに関してPTAで保護者を含めて啓発しており今後も実施していく。

問 学校再編について統廃合の期限は。



教育長 第五小学校を小規模特任校として進めながら委員会を立ち上げ、地域の方々の意見を吸い上げ時間をかけて検討する。

問 学校給食について残食状況と処理の方法は。

給食センター所長 約10%が残食となっており、堆肥化して再利用している。

問 町民の森円形広場の遊具撤去後の活用方法は。

中央公民館長 指定管理者とも協議しながら自然を活かした体験活動ができる施設を検討していきたい。

一般会計

討論

反対

今野 章 議員

能登半島地震の被災者にお見舞い申し上げる。日本は、どこで巨大地震が起きてもおかしくない。原発再稼働や推進は中止を。また政権党の裏金問題など、この出鱈目に腹を立てているのは私だけではない。

会計年度任用職員の雇用不安解消と正規職員への選考、貧困・格差解消へ正規職員の増員を。現行の健康保険証が12月に廃止され、マイナ保険証を廃止しないよう国に求めよ。防災の重要性が増している。高齢者や要避難行動支援者等に確実に情報が伝達されるよう個別受信機の設置を求める。障害者医療助成の窓口負担を現物給付に。学校給食無償化は全国に拡大。本町でも給食費無償化に踏み出すべき。町営住宅入居時の収入要件や連帯保証人の緩和等見直しを求める。一次産業を大事にするまちづくり、価格保障や所得補償など整備が求められる。

賛成

櫻井 靖 議員

令和6年度一般会計予算は、あれもこれもと欲張るのではなく町民に對してしっかりと説明が付く身の丈にあつた予算組みとなつている。予算の中身を見ると都市計画道路根廻・初原線道路整備事業と保健福祉センター大規模改修事業という大きな柱を中心に据えており、将来を見据えた計画に裏打ちされた予算となつている。

大きな変化はないかもしれないが、限りある予算の中、一歩一歩着実に目標に向けて歩みを止めず進んでいくことが、この予算からは読み取れる。町制施行100周年に向け部署や役職の枠組みにとらわれることなく役場職員が一丸となつて行政運営に取り組んでいこうとする意気込みは大いに期待する。

以上のことから賛成する。

後期高齢者医療特別会計

反対

今野 章 議員

町の後期高齢者のマイナ保険証取得率は58・5%。利用率は4・96%。この状況で保険証の一本化が進めば混乱をきたす。現行の保険証もマイナ保険証も利用できるようにすべきである。2月1日の宮城県後期高齢者医療広域連合議会で保険料の見直しが可決。所得割、均等割、限度額が引き上げられ、保険料が一人当たり年平均で7,323円引き上げられる。岸田政権は、「少子化対策の財源の確保」の名の下に保険料に上乗せを行う方針で今後も負担増が続く。高齢になれば、いくつかの病気を抱え毎日の生活を送るのは当たり前にも拘らず、負担を強化することで受診を抑制し、予算を削る。これは高齢者の命を削るものである。繰り返される保険料値上げと窓口負担の強化は、高齢者に痛みを強いるものであり、高齢者が安心して医療を受けられる医療保険制度を構築すべきである。

賛成

櫻井ていこ 議員

後期高齢者医療制度は、将来にわたって安心して医療を受けることができるように、老人医療費を75歳以上の方と65歳以上74歳以下で一定の障がいがあると認められた方々を含め、社会全体で支えあうために平成20年度から開始された制度である。医療制度の財源は、約5割を国や自治体からの公費、約4割を現役世代からの支援金、約1割を後期高齢者の保険料で運営している。また、育児支援金など子育てを全世代で支援するため、後期高齢者医療制度から一部支援する仕組みが導入された。

本町は、市町村助成事業を率先して取り組み、町内の高齢者が安心して生活し、だれもが地域医療を受け続けられるよう、宮城県後期高齢者医療広域連合と連携しながら円滑な運営をお願いして賛成の討論とする。

介護保険特別会計

反対

今野 章 議員

介護保険料が前期より基準額で200円引き下がる。保険料引き下げに注力されたことに感謝したい。一方、所得階層を多段階化する事で負担増となる方も発生する。保険料は制度開始当初の2倍以上になった。当初、保険料基準額の限界は5,000円程度と言われたが、既にそれを超えた。物価高騰と実質的な年金の目減りは、高齢者にとって、後期高齢者医療の保険料や窓口負担の増大と合わせ大変重い負担である。医療や介護の費用削減ではなく、国庫負担の増額を求めべきである。

また、介護報酬改定で訪問介護事業所に支払われる基本報酬が引き下げられる。小規模事業所など倒産や閉鎖を余儀なくされる。利用者が広域に点在する地方ほど影響は強く、介護を必要とする人にサービスが確実に届くか懸念される。基本報酬の引き下げは直ちに止めるよう国に求めるべきである。

賛成

米川修司 議員

介護保険制度は保険料の算定に当たって、負担能力に応じた負担を求める観点から所得階層別保険料を採用しており、以前より標準の9段階を超えて多段階化を行っている自治体は全体の半数を超えていた。本町も令和6年度より第1号被保険者の保険料は所得段階が13段階となり、高所得者の標準乗率が引き上げられる一方、低所得者の課税標準税率は引き下げられる。

また、令和6年度からの保険料基準月額が6,646円と試算される。ところが、町が最大限の範囲内で財政調整基金を計画的に取り崩すことにより、保険料基準月額を6,400円に抑えたことは一定の理解に値する。これからもニーズに応じた介護サービスの確保等に向けて施策を展開することにより、持続可能な介護保険制度の運営と保険者機能の強化を実現するための基盤づくりに向けて賛成の討論とする。



令和6年2月6日(火)、山形県中山町議会治山・治水特別委員会が行政視察のため来町された。

トピックス



山形県中山町議会 行政視察



視察では「風水害時の被災者支援」と題して、町長、危機管理監、町民福祉課長などから令和4年度大雨災害時の状況と新たに発足した「吉田川・高城川流域水害対策協議会」の概要と流域水害計画策定に向けた町の説明を受けた後、近年の冠水被害等の傾向について意見交換を行った。

このほか、石田沢防災センターを見学された。

予算審査特別委員会の意見・要望

予算審査特別委員会は、第1分科会(総務経済常任委員会)第2分科会(教育民生常任委員会)で、一般会計・各特別会計・水道事業会計・下水道事業会計の令和6年度各種会計予算について6日間の審査を行った。審査の結果、以下の意見や要望等を町長へ提出した。



令和6年度予算審査特別委員会 菅野 隆二委員長

窓口支払いについて

銀行等金融機関の各種手数料が大きな負担となっている。役場窓口での支払いを推奨すると共に、業務効率化の観点から精算機の導入を検討すべきである。

DXの推進について

総務経済常任委員会の所管事務調査報告書で提案している「書かない窓口」の導入に向け、取り組みられていることは大変喜ばしいことである。町民が便利になったと実感できるDXの方法を精査し導入することを望む。

企業版ふるさと納税について

令和5年度の企業版ふるさと納税の歳入は当初予算の目標とは大きな開きがあった。担当課の努力は認めるものの、今後は各課との連携を強め、職員が一丸となって目標達成に励むべきである。

松くい虫対策について

松島の景観を守ることが重要である。「みどりの少年団」等に呼びかけ安全な場所で松を植樹するイベントなどを行うことで、子どもたちに松島の松の大切さを啓発すべきである。

介護予防教室について

他の市町から見えて高評価の「まつしま元気塾」が、女性だけでなく男性もより参加しやすくなる環境づくりを図りたい。

民生委員児童委員について

なり手不足が現在も続いているので、引き続き人員が充足するよう努力されたい。

歩道橋の除雪について

近年、降雪回数や積雪量が減少していることから交通安全施設除雪業務委託料が満額使われることは珍しくなっている。歩道橋に積もる雪は凍りやすく滑りやすいため少量であっても危険である。町民の安全対策の上からも除雪基準を下げるべきである。

文化財の保存管理について

現在の施設において、マンパワーによる管理体制では限りがあるため、より適切に保存する方法を検討されたい。

審査資料の充実について

議会のタブレット導入によりペーパーレス化が進む。予算審査にあたり今よりも資料の掲載が可能になることから、今後は予算額の積算根拠を明確にした説明欄の充実を望む。また、他の審議資料についても同様に詳しい資料作成に努められたい。



降雪時の歩道橋 (松島第二小学校前)
※撮影 R5.2.10

議案 審議

指定居住介護等の企業の 人員と運営に関する基準が改正

第4期松島町障がい者計画について

質疑

菅野隆二議員 福祉施設から一般就労までの移行の目標数値が50%の算出根拠は。

町民福祉課長 町内には就労施設がないが、他市町の事業所を使用して50%の目標値とした。

今野章議員 日中一時支援事業対策はどのように取り組むのか。

町民福祉課長 取組の充実・体制強化を検討していきたい。
賛成全員・可決

松島町高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画について

質疑

菅野隆二議員 8期の保険料より200円減額し、財政調整基金を活用しているが、十年後二十年後の見通しは大丈夫か。

健康長寿課長 3年後の財政調整基金を充分に残す設定で計画した。

赤間幸夫議員 避難行動支援者台帳の名簿掲載実績が、ここ3年減少しているのはなぜか。

健康長寿課長 コロナ禍により訪問確認が困難であった。今後、訪問確認に取り組み。
※このほかにも今野章議員から質問があった。

討論

反対討論

今野章議員 介護保険料は、介護保険制度が始まった当時の2倍以上になっており、年金暮らしの高齢者にとっては、後期高齢者医療保険と合わせ大変重い負担となっている。
介護報酬改定の基本報酬の引下げを直ちにやめるべきであり、本計画に反対する。

賛成討論

櫻井靖議員 第9期介護保険料の200円減額は、評価するべき改定である。

高齢者の孤立化・地域の希薄化が問題とされているが、松島町高齢者福祉計画以外でも、町全体として取り組む総合計画にある。今後、町の努力を期待して、賛成する。

賛成多数・可決

松島町観光振興計画について

質疑

櫻井靖議員 本町とDMO(観光地域づくり法人)の関わりを今後どう持っていくのか。

産業観光課長 令和5年度は直接的な関わりはなかったが、旅商品の造成販売やツーリズムの展開、観光に関する調査などのマネジメントといった観光地域づくりの司令塔となっている。

中島一都議員 稼ぐ観光地域の体制構築に向けた支援、促進とはどのようなことか。

産業観光課長 松島では体験型観光が20件ほどあるが、個々の施設で、個々の事業を展開している。窓口を一つにして利便性を向上させ、地域経済の好循環を生み出したい。
※このほかにも菅野隆二議員、高橋幸彦議員から質問があった。

賛成全員・可決

児童公園の設置及び管理に関する条例の一部改正について

質疑

櫻井靖議員 磯崎保育所が建設された時点で条例の廃止を行うべきではなかったのか。

また、保育所の跡地をどのように今後活用するのか。

町民福祉課長 当時は再整備を考えていなかった。跡地は、町有地のほか、磯崎漁業協同組合の土地も一部ある。土地の売り払いを含め協議をしていく。

賛成全員・可決



保育所跡地

松島町特別会計条例の制定について

質疑

今野章議員 弾力条項の適用とは、予算の補正を可能とするのか。

財務課長 一般会計、特別会計問わず経費に不足が生じた場合、通常、補正または専決処分となるが、弾力条項は、その原則を排除したもので予算のない支出を認める条項となる。

賛成全員・可決

松島町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正について

質疑

今野章議員 今回の条例改正によって介護保険の利用者及び、介護保険サービスを提供する事業者のメリットは。

健康長寿課長 ケアマネジャーの取扱件数の増加は、収入も得られるものと考え。モニタリングは、直接面接が基本であるが、訪問できないとき、事業効率化に向けて、活用も可能となる。

健康長寿課長 ケアマネジャーの取扱件数の増加は、収入も得られるものと考え。モニタリングは、直接面接が基本であるが、訪問できないとき、事業効率化に向けて、活用も可能となる。

討論

反対討論

今野章議員

ケアマネジャー1人当たりの取扱件数が、最大で49件となることや、管理者が兼務する事業所の範囲が極めて広く規定をされるなど、利用者も、事業者も様々な負担をしいられる条例の改正であるため反対する。

賛成討論

米川修司議員

モニタリングの手段が増え、ケアマネジャーの取扱件数増加の対象は介護予防支援で、大きな負担増にはならないと認識する。

介護事業者の事業運営上、より事業継続の可能性が拡大し、メリットも大きいと感じ賛成する。

賛成討論

菅野隆二議員

管理者が兼務できることは、特に小規模の事業所であれば、兼任できないと新たに雇用しないとならず、負担となる。直接面会するのが本分であるが、モニタリングの方法が増えることで、現場の負担が減少するなどトータル的にメリットとなることから賛成である。

賛成多数・可決

松島町水道事業給水条例の一部改正について

質疑

菅野隆二議員 水道整備管理行政が、厚生労働省から国土交通省に移管とのことだが町としての影響は。

水道事業所長 現時点では、具体的な内容については把握できない。

賛成全員・可決

令和6年第1回定例会
補正予算

令和5年度松島町一般会計補正予算(第8号)

○新型コロナナウイルス感染症対応
応地方創生事業費

6事業 △512万円
行政区エネルギー価格等高騰
対策支援事業

・防犯LED化促進補助事業

・暮らしを応援住まいのリフォーム助成事業

・新生児給付金事業

・まつしま家計応援商品券配布事業

・松島お泊まりデジタルクーポン発行事業

質疑

米川修司議員 暮らしを応援住まいのリフォーム助成事業について交付要件の期限迄に申請した町民全てが完了するのか。

企画調整課長 120件の申請があり2月末までに115件実績報告を受けている。残り5件についても期限内に提出予定となっている。

企画調整課長 120件の申請があり2月末までに115件実績報告を受けている。残り5件についても期限内に提出予定となっている。

桜井ていこ議員 街灯のLED化の状況は。

総務課長 町灯は100%完了した。地区は今回の交付金事業で265基実施し、現在約9割がLED化となっている。

櫻井靖議員 新型コロナナウイルスワクチン接種について今後の方向性は。

健康長寿課長 4月1日以降は定期予防接種となり、インフルエンザと同等の取扱いとなる。現在塩釜医師会と調整中であり、決定次第町民へ周知する。

賛成全員・可決

令和5年度松島町下水道事業会計補正予算(第3号)

質疑

赤間幸夫議員 公共下水道初原準幹線築造工事について減額の理由は。

水道事業所長 確定した事業費の差額分、補助金等が多くなつた部分を減額している。

賛成全員・可決



物価高騰対応重点支援地方創生事業 松島ドドンパ商品券配布など計4事業を実施

令和5年第2回臨時会 補正予算

令和5年度松島町一般会計補正
予算(第6号)

○物価高騰対応重点支援地方創
生事業費 全4事業
4,468万円

・松島ドドンパ商品券配布
・畜産物価高騰対策支援

・農水産物価高騰対策支援
・水田作付転換農家物価高騰対
策支援

○(都)根廻・初原線道路整備事
業 1億9,200万円
○農村集落活性化推進事業
725万円

質疑

桜井ていこ議員 前回の商品券
配布時はなかなか届かない世帯
があったが、今回は1月中に全
世帯に届くのか。

産業観光課長 今回は商品券の
利用開始日を統一せず、届いた
世帯から順に利用してもらおう。

赤間幸夫議員 飼料等資材の一
部支援の対象となる牛の数には、
1月以降に生まれると見込まれ
る子牛も含まれるか。また、農

水産業者には免税関係で燃料代
の一部補助があるが、それに上
乗せて町も支援するのか。

産業観光課長 この補正予算を
提案する前に各事業者から聞き
取りした牛の数だけが支援の対
象となる。また、燃料代につい
ては、低価格の時期と今を比較
し、経産省が提示した金額であ
る。

高橋幸彦議員 国道346号に
ついて、道幅が狭い割には高速
度で走行する大型車が少なく
ないが、交差点計画の部分だけ
も道幅を上げられないのか。

建設課長 国道の計画幅である。
片山正弘議員 交差点計画の用
地は町が買収するが、工事後
後の道路整備等は全て町が行う
のか。

建設課長 工事後後は用地を
町から県へ移管し、拡幅等を含
め全て県が道路の管理を行う。

小澤陽子議員 農村集落活性化
推進事業について、支援金の対
象となる団体は実際にどのよう
な活動をしているか。

産業観光課長 法面の草刈り、
水路の泥上げ、農道の路面維持

に加え、軽微な補修もしている。

阿部幸夫議員 事業期間は令和
6年3月までだが、支援金を年
度内に使い切る必要があるか。

産業観光課長 本来は年度内に
使い切ってもらいたいが、今回
は実績報告まで求めている。

菅野隆二議員 この事業では具
体的にどのような効果を求めて
いるか。また、財源が企業版ふ
るさと納税であることから、寄
附した企業に対してどのように
成果を説明するのか。

産業観光課長 機械の共同購入
等の負担に関して支援すること
が農業の振興に繋がると考える。
また、寄附した企業が希望する
使い道を踏まえて、農業振興の
ために支援金を給付したと説明
したい。

片山正弘議員 仮に寄附金でな
く町の財源で支援する場合でも
実績報告を求めないのか。

町長 農業に携わる方々に支援
金がいち早く公平に行き渡るよ
う本予算案を上げている。

賛成全員・可決

令和6年第1回臨時会 補正予算

令和5年度松島町一般会計補正予算(第7号)

○物価高騰対応重点支援給付金
(第2号) 4億1,183万円

○低所得者の子育て世帯への加
算給付金 1,021万円

質疑

菅野隆二議員 前回は物価高騰
対応で住民税非課税世帯に7万
円給付し、今回は均等割のみ課
税世帯に10万円給付するが、こ
の違いをどのように捉えるか。

町民福祉課長 6月議会後に電
力・ガス・食料品等高騰対応で
住民税非課税世帯には3万円給
付しており、前回と合わせると
同じ10万円の給付は済んでいる。

桜井ていこ議員 前回の物価高
騰対応事業と合わせて、今回の
二つの事業についても12月定例
会において提案できたのでは。

町民福祉課長 今回の事業に必
要な財源が確保されたのは、12
月定例会が終わってから国の閣
議で予備費を充用すると正式に
決定したことによる。

賛成全員・可決

令和6年第1回定例会 提出議案(3月議会)

地方自治法第96条第2項の議決事件

議案第2号 第4期松島町障がい者計画

議案第3号 松島町高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画

議案第4号 松島町観光振興計画

議案第5号 松島町特別会計条例の制定について
各特別会計条例の一元化を図る条例の制定

議案第6号 松島町監査委員条例及び松島町水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正について
条項ずれを整理する所要の改正

議案第7号 松島町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について
会計年度任用職員に対する勤勉手当を可能にするための改正

議案第8号 松島町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について
本条例における特定教育・保育施設の重要事項の書面揭示の義務付けを見直す改正

議案第9号 児童公園の設置及び管理に関する条例の一部改正について
磯崎児童公園を廃止するための改正

議案第10号 松島町国民健康保険税条例の一部改正について
国民健康保険税の税率の改正

議案第11号 松島町介護保険条例の一部改正について
介護保険料標準段階の多段階化等を定める改正

議案第12号 松島町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正について
松島町指定居宅介護支援等の事業の運営に関する基準等の改正

議案第13号 松島町水道事業給水条例の一部改正について
水道整備・管理行政が厚生労働省から国土交通省に移管されたことによる所要の改正

議案第14号 指定管理者の指定について
磯崎漁港漁具倉庫に関する指定管理者の指定

議案第15号 令和5年度松島町一般会計補正予算(第8号)
「能登半島地震災害支援」に職員を派遣する関係経費等の補正

議案第16号 令和5年度松島町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
一般被保険者療養給付費等の精査に伴う補正

議案第17号 令和5年度松島町介護保険特別会計補正予算(第4号)
介護保険システム改修費等の補正

議案第18号 令和5年度松島町観瀾亭等特別会計補正予算(第2号)
財政調整基金積立金の補正

議案第19号 令和5年度松島町松島区外区有財産特別会計補正予算(第2号)
今年度で閉鎖する高城区及び幡谷区の財産積立金を一般会計へ繰り出す補正

議案第20号 令和5年度松島町水道事業会計補正予算(第3号)
建設改良事業の精査による補正等

議案第21号 令和5年度松島町下水道事業会計補正予算(第3号)
建設改良事業の精査による補正等

令和6年度各種会計予算

議案第22号 令和6年度松島町一般会計予算

議案第23号 令和6年度松島町国民健康保険特別会計予算

議案第24号 令和6年度松島町後期高齢者医療特別会計予算

議案第25号 令和6年度松島町介護保険特別会計予算

議案第26号 令和6年度松島町介護サービス事業特別会計予算

議案第27号 令和6年度松島町観瀾亭等特別会計予算

議案第28号 令和6年度松島町水道事業会計予算

議案第29号 令和6年度松島町下水道事業会計予算

臨時会 提出議案

令和5年第2回松島町議会臨時会(令和5年12月21日)
議案第87号 令和5年度松島町一般会計補正予算(第6号)
物価高騰の影響を受けている町民等に対する支援を目的とした事業等の補正

令和6年第1回松島町議会臨時会(令和6年2月5日)
議案第1号 令和5年度松島町一般会計補正予算(第7号)
低所得者世帯等に対する支援枠拡大に伴う各事業の補正

議 案 採 決 結 果 表

表の見方 ①採決結果 : 賛成全員(可決または採択) → 「全」 賛成多数(可決または採択) → 「多」
 賛成少数(否決または不採択) → 「否」
 ②各議員の表決: 賛成 → ○ 反対 → × ③その他: 欠席 → 欠 退席 → 退 議長 → 議

令和6年第1回定例会

議案番号	議案名	議決月日	採決結果	菅野隆二	米川修司	櫻井靖	桜井ていこ	中島一都	後藤良郎	赤間幸夫	高橋幸彦	阿部幸夫	今野章	小澤陽子	片山正弘	高橋利典	色川晴夫	賛成	反対
				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案第2号	松島町障がい者計画(第4期)について	3月6日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第3号	松島町高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画について		多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	議	12	1
議案第4号	松島町観光振興計画について		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第5号	松島町特別会計条例の制定について		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第6号	松島町監査委員条例及び松島町水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正について		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第7号	松島町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第8号	松島町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第9号	児童公園の設置及び管理に関する条例の一部改正について		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第10号	松島町国民健康保険税条例の一部改正について		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第11号	松島町介護保険条例の一部改正について		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第12号	松島町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正について		多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	議	12	1
議案第13号	松島町水道事業給水条例の一部改正について		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第14号	指定管理者の指定について		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第15号	令和5年度松島町一般会計補正予算(第8号)		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第16号	令和5年度松島町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第17号	令和5年度松島町介護保険特別会計補正予算(第4号)		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第18号	令和5年度松島町観瀾亭等特別会計補正予算(第2号)		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第19号	令和5年度松島町松島区外有財産特別会計補正予算(第2号)		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第20号	令和5年度松島町水道事業会計補正予算(第3号)		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第21号	令和5年度松島町下水道事業会計補正予算(第3号)		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第22号	令和6年度松島町一般会計予算		3月18日	多	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	議	12	1
議案第23号	令和6年度松島町国民健康保険特別会計予算	全		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第24号	令和6年度松島町後期高齢者医療特別会計予算	多		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	議	12	1
議案第25号	令和6年度松島町介護保険特別会計予算	多		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	議	12	1
議案第26号	令和6年度松島町介護サービス事業特別会計予算	全		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第27号	令和6年度松島町観瀾亭等特別会計予算	全		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第28号	令和6年度松島町水道事業会計予算	全		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第29号	令和6年度松島町下水道事業会計予算	全		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0

令和5年第2回臨時会

議案番号	議案名	議決月日	採決結果	菅野隆二	米川修司	櫻井靖	桜井ていこ	中島一都	後藤良郎	赤間幸夫	高橋幸彦	阿部幸夫	今野章	小澤陽子	片山正弘	高橋利典	色川晴夫	賛成	反対
議案第87号	令和5年度松島町一般会計補正予算(第6号)	12月21日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0

令和6年第1回臨時会

議案番号	議案名	議決月日	採決結果	菅野隆二	米川修司	櫻井靖	桜井ていこ	中島一都	後藤良郎	赤間幸夫	高橋幸彦	阿部幸夫	今野章	小澤陽子	片山正弘	高橋利典	色川晴夫	賛成	反対
議案第1号	令和5年度松島町一般会計補正予算(第7号)	2月5日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0

採決表



よねかわ しゅうじ 議員
米川 修司

問 町人口の社会増減に関する基本的な考えは

答 若者がふるさと松島に戻ってからも仕事を選べる、家庭を持てると思えるようなまちづくりを目指していく

問 町は転入を継続するための新たな施策として、日本三景の自然の中で暮らしたいと考える若者や、子どものいる世代に住んでもらえるよう子育て支援策のPRをどのように強化するのか。

町長 今後も県内外で行っている移住イベントでのPR活動を継続して、近隣自治体や他都道府県を区別することなく移住政策に取り組んでいく。

問 これからは近隣自治体からの移動である「引越」と、長距離の移動を伴う「移住」と区別して、転入元のターゲット地域を明確化する必要があるのではないか。

町長 今年度は新たに移住促進ガイドブックを刷新しており、今後は移住イベントでの呼びかけ、オンラインを活用した相談や多種多様なニーズに合わせた対応など、引き続き移住促進の強化を図っていく。



移住・定住促進ガイドブック表紙

問 今後はやる気のある町内事業者を対象に、求人や設備投資等にかかる費用を一部補助するなど、雇用を増やすための政策を優先するべきではないか。

町長 事業所に対する従業員の雇用支援や、事業規模の拡大支援を町の事業として導くことは現時点で考えていない。

問 本町が2年連続で社会増を達成したことを機に、町民の転出をできるだけ抑制するための具体的な取組みを設定し、次期長期総合計画において明確に示してもらいたいが、町は社会増を継続するための基本的対策をどのように考えているか。

町長 これまで実施してきた施策による成果や課題を整理するとともに、次期長期総合計画策定の中で町民の声を取り入れながら、人が集う賑わいの町を目指したまちづくりについて今後議論していく。

問 全国の市町村においては男女を問わず二十代の流出が特に顕著であるが、例えば町外へ車で通勤するためのガソリン代を一部補助するなど、若者に引き続き町内に住み続けてもらうための施策が必要ではないか。

町長 これはお金で解決しようとする大変そうだが、松島で生まれて今も松島に住んでいてよかったですと実感できる環境づくりが重要であり、特に二十代女性の感じ方を知るために今後は話す機会を設けて環境づくりのヒントを得たい。



さくらい 桜井ていこ 議員

問 脱炭素の取り組みについて

答 身近なところから取り組む

問 松島町は、昨年6月ゼロカーボンシティ宣言を行った。脱炭素の取り組み状況は。炭素の排出量を減らす取り組みについて。

町長 LED照明の導入や建築物の省エネルギー対策、家庭や事業所から排出されるごみの減量化も大きく寄与するものと捉えている。

問 ごみカレンダーは判断・両面印刷で分別欄が裏面記載で、活用しづらいとの声がある。改訂を考えてみては。

総務課長 ごみカレンダーは、企業からの広告協賛で、町が費用をかけずに作成するため、形状は変えられない。



問 他市町村は、ゴミフェア・研修会の開催、電気製品の買い替え推進などの助成金など活用しているが、町はどのような取り組みをしているのか。

総務課長 小型家電の回収推進や環境美化推進員による啓発活動、身近なところから対策を行い、広報・HPで周知する。新年度は、地球温暖化対策のガイドブック（エコ活動・分別方法）を全戸配付で進めている。

問 高城町駅周辺に、時間貸駐車場がなくなり、不便になったと相談を受けた。パークアンドライドの手法を活用して、駅周辺を整備する考えはないか。

町長 現時点でのパークアンドライドの取り組みはしていない。4月よりバスの民営委託となり、バスと鉄道、公共施設の関わりを今後検討していく。

問 バス停にイスを設置してほしい

答 道路管理者と安全面を協議して設置の可否を検討する

問 住民の方からバス停にイスがあると助かると相談を受けた。廃止建物（林業研修館）の部材を利活用したベンチの設置の予定は。

問 バスの乗降位置を示すバス停の標識が上下線に無い、地名の表記と実際の場所との整合性について把握しているか。

町長 活用できる部材が少なく、耐久性に欠けることから、解体材の再利用はせず、チップ材で活用する。

総務課長 上下線ともに停留所設置が4ヶ所以外は、片側のみとなっている。安全面を考慮して現状になった。4月から民営委託で運行し、運行調査を行い。今後、地域公共交通会議にて、ダイヤ改正など改善を検討する。

総務課長 バス停のベンチは、車道からの距離を保ち歩行者の妨げにならない等、道路管理者・地権者・警察との協議の上で設置となる。要望される場所を把握して、設置の可否を検討する。



小石浜バス停 手作りベンチ



ごとう よしろう 議員
後藤 良郎

問 帯状疱疹の予防ワクチン接種について

答 塩釜圏域の担当課長会議等で提案していく

問 町の帯状疱疹に対する認識は。

町長 帯状疱疹の原因となる水ぼうそう帯状疱疹ウイルスに対しては成人の9割以上が抗体を持っているとも言われ、誰もが帯状疱疹を発症する可能性がある罹患として認識している。また、帯状疱疹後神経痛（PHN）の発症は年齢とともに増加する傾向にあり、数ヶ月にわたって疼痛が持続し、長期的に薬物療法や神経ブロック等の治療をすることもであると承知している。

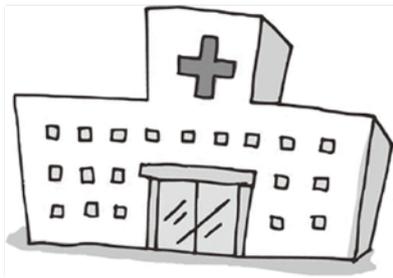
問 全国で約300の自治体が助成を実施している帯状疱疹の予防ワクチンは2種類のワクチンが

あり、それぞれ接種回数や費用が異なる。1つは1回の接種で済む生ワクチン、これは皮下注射になる。費用は7千円から1万円、予防効果は50%から60%である。持続の効果は5年程度。もう1つは2回接種が必要な不活化ワクチン。費用は2回で、4万円から6万円、予防効果は90%以上、持続効果は9年以上とされている。これをどう考えているか。

町長 全国で予防ワクチンの助成を実施していることについて多いのか少ないのかということは分からない。しかし相当の費用がかかることは把握している。

問 本町を含めた二市三町の病院ではどのようなワクチンの扱いをしているのか聞いてみた。本町では松島病院が不活化ワクチン、たけなな医院が不活化ワクチンと生ワクチン、そして塩釜市立病院が不活化ワクチンを扱っている。これらをどうとらえているか。

健康長寿課長 町内の医療機関での取扱について課として調べた。話のとおりその範囲内での接種の費用ということまで確認している。



問 4月から助成を開始する富谷市は人口が5万2千人、対象人数が約4500人、事業費が688万円である。松島町に当てはめると対象人数が百人前後、事業費は160万円位と推定される。是非助成すべきと考えるがどうか。

町長 行くとすれば松島町単独ではなく塩釜医師会や二市二町の動向も見定めながら、まずは塩釜圏域の担当課長会議等でこの件を本町から是非提案していきたい。

式第3号 (第4条関係)

川崎町帯状疱疹予防接種助成事業償還請求書

令和 年 月

町長 様

川崎町帯状疱疹予防接種助成事業に係る助成金について、次のとおり請求します。

大体内をご記入ください。

請求者氏名	接種者との関係	
住 居	(住居のある町)	電話番号
	川崎町	()
接種者氏名	生年月日	大正・昭和 年 月 日
ワクチンの種類	実施日	実施医療機関
<input type="checkbox"/> ①ビケン	1回目:令和 年 月 日	
<input type="checkbox"/> ②シングラックス	2回目:令和 年 月 日	
(交付接種)	請求金額 (1-2回目の支払額の合計)	
助成金額は、①は1回のみ4,800円まで、②は各13,900円が上限です		
振込先	銀行・農協・信用組合	支店・
	信用金庫・安全	支所・出
	金融機関コード	店舗コード
	口座の種類	口座番号
	フリガナ	
	口座名義人氏名	
(受領印)	<input type="checkbox"/> 川崎町に住民登録をしている	<input type="checkbox"/> 個人コード
	<input type="checkbox"/> 65歳以上である	(受付者) (捺印者)
	<input type="checkbox"/> 医療機関医師の写し	
	<input type="checkbox"/> 領金簿帳の写し	

川崎町ホームページより抜粋
(帯状疱疹予防接種助成の書類)



さくら い やすし
櫻井 靖 議員

問 二次避難先の重要性をどう考えているか

答 6 自治体と相互応援協定を締結している

問 本町が災害に見舞われ二次避難が必要になったとき、町は受入れ先についてどのような準備をしているのか。

危機管理監 夫婦町である秋田県にかほ市や隣接する東松島市など6自治体と相互応援協定を締結しており、二次避難が必要となった場合には、その協定に基づいて本町から受入れの要請を行うことになっている。

問 子どもの学びを止めないために二次避難についてどのような考えを持っているか。

教育課長 学校施設が使えずに授業再開が見込めない状況であれば行政の枠を越えた集団避難の必要性も検討しなければなりませんと考えています。また、他の地域で大規模災害が発生した場合に、国から全国の市町村の教育委員会に依頼されるので、町内の学校に避難を希望する児童・生徒がいる場合には、柔軟に対応していく。



問 災害はいつ起こるか分からない。猛暑の時期やとても寒い時期での避難所での過ごし方の検証は行われているのか。

町長 冬期間における発災を想定し、避難所開設運営訓練を今年2月末に実施し、必要な物資や留意点など避難者側に負担がかからない避難所運営を再確認した。また、暑い時期については、令和4年7月、大雨における避難所運営を検証した。

問 ラジオ体操で健康意識の向上を

答 「どんぐりバランス体操」の普及を進めている

問 毎年、各県で巡回ラジオ体操が行われているが、松島町では行われていない。松島町のPRと町民の健康意識の向上に向けた取り組みとして、巡回ラジオ体操の候補地として手を挙げてはどうか。

問 観光地である松島の朝の風景として、観光客等も一緒になって体操やヨガなどを定期的に行うことで松島観光の新たな目玉とならないか。各種サークルに働きかけてはどうか。

町長 巡回ラジオ体操等のイベントの実施もよいが、町では近年、オリジナルで作成した「どんぐりバランス体操」の普及を進めており、普段の生活の中で自分に合った運動を継続できるよう、町民一人一人の健康課題に応じた健康づくりの支援を行っている。

町長 観光客との融合となると難しいと思うが、インスタ映えするようなところでPRしてみたらどうだという話もある。そういった相談等があれば、町としてもフォローアップしていきたい。





菅野 隆二 議員

問 学校教育の将来の展望をどのように考えているのか

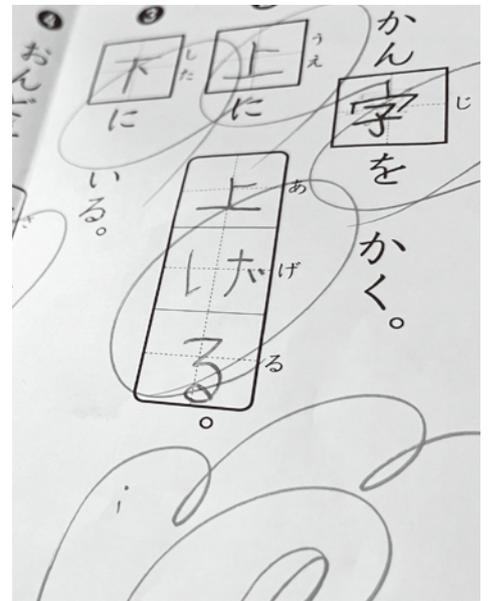
答 将来的な小中学校の在り方を検討する委員会を立ち上げる

問 松島町内の小中学生の学力状況は。

教育長 全国学力状況調査において令和5年度の結果としては、小学校は県平均・全国平均を上回っている。中学校においては県と国と同等なのが国語。英語と数学がやや落ちるとい形になっている。

問 町内の小学生が県内で上位の学力である要因は。

教育長 一問一答式をやめて子どもたちの発言に対して褒めてあげる。授業の最後に今日の授業で何が分かったかを答えさせるなどの当たり前のことを丁寧にやった結果だ



と考えている。

問 学力が高かった小学生が中学生になると学力が下がってしまう要因は。

教育長 一概には言えないが、教科担任制になかなか馴染めないという部分もあるだろうし、勉強より部活動という話にもなってくることも要因と考えている。

問 中学生になると学力が下がっていることに対しての町の考えと対策は。

教育長 看過できないことと認識している。保護者の70〜80%は学力を求

めている形なので、その期待に応えるために授業の質を高める施策を中学校で頻繁に行っている。

問 町内の小中学生の体力・運動能力の状況は。

教育課長 令和5年度全国体力運動能力調査の結果では小学生の男子は宮城県平均と同程度で全国平均より若干下回っている。小学生の女子は宮城県平均および全国平均と共に上回っている状況である。中学生においては男女共に宮城県平均及び全国平均を下回っている状況である。

問 全国的に子どもの数が減少している中で発達障害と呼ばれる子どもは増え続けている。個々のニーズや学習障害に対する支援体制をどのように整備しているのか。

教育長 学習状況に合わせて普通教室と分けて通級による指導、特別支援教育補助員の配置などを行っている。発達障害の特性や対応についての研修会を実施し、理解促進、指導の強化を図っている。

問 児童・生徒数の減少が予想される中で、学校教育を維持していくための町の考えは。

教育長 現在、小規模特認校制度に関してのアンケートを保護者に対して実施しており、その結果を見て導入の検討を進める。

問 学校教育の将来の展望をどのように考えているのか。

教育長 少子化の問題は避けて通れない。大きく問題を捉えて今から考えていかなければならない。

町長 将来的な松島町の小中学校の在り方を検討する委員会をできるだけ早い時期に立ち上げる。





今野 章 議員

問 給食費の無償化で子育て支援を

答 地域事情や財政力を考慮し、慎重に判断する

問 1月、東京都は小中学校の給食費に区市町村が支援を行う場合、半分を都が負担する方針を固め、保護者負担の軽減を図る。2月20日には青森県が全県で小中学校の給食費無償化を決め、新年度予算を発表した。県内では16市町村が無償化や一部補助を実施していると思うが、本町で小・中学校の給食費を無償化する場合、新たにどの程度の財源が必要か。

教育次長 給食費の無償化を、新年度予算を基に試算すると総額で約4,200万円。小学校で約2,600万円、小学6年生だけで約410万円の費用となる。また、中学校では約1,600万円、中学3年生だけで約540万円の費用となる。

問 県内の給食費無償あるいは一部補助の状況は。

教育次長 令和6年1月末時点で35市町村の内、無償化を実施している自治体は3市6町1村で計10自治体、気仙沼市、栗原市、富谷市、七ヶ宿町、川崎町、丸森町、大和町、大郷町、南三陸町、大衡村であり、一部補助は1市5町で計6自治体、名取市、利府町、蔵王町、色麻町、山元町、女川町で、新年度から角田市も一部補助を予定している。

義務教育を卒業する1年間だけでも無償化を

問 学校給食無償化の自治体が拡大しているが、自治体間で義務教育環境に大きな格差が生じないようにすることが大事と思うが、町の見解は。

問 例えば、義務教育を卒業する1年間だけでも学校給食を無償にする場合、財源は540万円。庁舎建設の基金積立金を学校給食費の無償化が実現するまでストップするなどにも考えられる。改めて、学校給食費無償化に向けた考えは。

町長 格差は好ましくないと考える。特に県内で大きな格差を生じないことは重要と認識している。しかし、無償化を実施する場合、地域の諸事情や財政力も考慮し判断する。将来にわたり継続した施策になると認識しており慎重に判断しなければならず、町単独による実施はない。

町長 基金見直しの話しも含め、総体的に考え議論していきたい。早期に実現したいが今すぐは難しい。



一部事務組合議会報告

塩釜地区消防事務組合議会

令和5年12月22日（金）

令和5年第4回定例会

議案の審査状況

行政報告

①火災件数

管内 44件
（前年比8件増）

②救急出場件数

管内 9,686件
（前年比596件増）

③要介護認定審査判定数

管内 5,278件

④障害支援区分判定数

管内 194件

審査会開催 19回

⑤し尿及び浄化槽汚泥の搬入総量

5,219トン
（前年比190トン減）

⑥塩竈斎場及び塩釜地区

りふ斎苑利用実績

管内 1,753件
（前年比185件増）

※①②は令和5年1月～11月末

③～⑥は令和5年4月～11月末

・議案第15号 令和5年度塩釜地区消防事務組合一般会計補正予算

・議案第16号 塩釜地区消防事務組合介護認定審査事業特別会計補正予算

・議案第17号 塩釜地区消防事務組合障害支援区分審査事業特別会計補正予算

・議案第18号 令和5年度塩釜地区消防事務組合環境事業特別会計補正予算

・議案第19号 塩釜地区消防事務組合職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

賛成全員・可決

米川 修司議員
片山 正弘議員

宮城東部衛生処理組合議会

令和5年12月26日（火）

令和5年第4回定例会

議案の審査状況

行政報告

①ごみの搬入状況

3万1,497トン
（前年比1,863トン減）

松島町分 4,319トン
（前年比100トン減）

・議案第7号 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

・議案第8号 令和5年度宮城東部衛生処理組合会計補正予算（第2号）

・議案第9号 令和5年度宮城東部衛生処理組合会計補正予算（第2号）

・議案第10号 令和5年度宮城東部衛生処理組合会計補正予算（第2号）

・議案第11号 令和5年度宮城東部衛生処理組合会計補正予算（第2号）

・議案第12号 令和5年度宮城東部衛生処理組合会計補正予算（第2号）

・議案第13号 令和5年度宮城東部衛生処理組合会計補正予算（第2号）

・議案第14号 令和5年度宮城東部衛生処理組合会計補正予算（第2号）

・議案第15号 令和5年度宮城東部衛生処理組合会計補正予算（第2号）

・議案第16号 令和5年度宮城東部衛生処理組合会計補正予算（第2号）

・議案第17号 令和5年度宮城東部衛生処理組合会計補正予算（第2号）

・議案第7号 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

・議案第8号 令和5年度宮城東部衛生処理組合会計補正予算（第2号）

・議案第9号 令和5年度宮城東部衛生処理組合会計補正予算（第2号）

・議案第10号 令和5年度宮城東部衛生処理組合会計補正予算（第2号）

・議案第11号 令和5年度宮城東部衛生処理組合会計補正予算（第2号）

・議案第12号 令和5年度宮城東部衛生処理組合会計補正予算（第2号）

・議案第13号 令和5年度宮城東部衛生処理組合会計補正予算（第2号）

・議案第14号 令和5年度宮城東部衛生処理組合会計補正予算（第2号）

・議案第15号 令和5年度宮城東部衛生処理組合会計補正予算（第2号）

・議案第16号 令和5年度宮城東部衛生処理組合会計補正予算（第2号）

・議案第17号 令和5年度宮城東部衛生処理組合会計補正予算（第2号）

・議案第18号 令和5年度宮城東部衛生処理組合会計補正予算（第2号）

・議案第19号 令和5年度宮城東部衛生処理組合会計補正予算（第2号）

・議案第20号 令和5年度宮城東部衛生処理組合会計補正予算（第2号）

・議案第21号 令和5年度宮城東部衛生処理組合会計補正予算（第2号）

・議案第22号 令和5年度宮城東部衛生処理組合会計補正予算（第2号）

宮城県後期高齢者医療広域連合議会

令和6年2月1日（木）

令和6年第1回定例会

議案の審議状況

広域連合長提出

・議案第1号 会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

・議案第2号 令和5年度宮城県後期高齢者医療広域連合一般会計補正予算（第2号）

・議案第3号 令和5年度宮城県後期高齢者医療広域連合一般会計補正予算（第2号）

・議案第4号 令和5年度宮城県後期高齢者医療広域連合一般会計補正予算（第2号）

・議案第5号 令和5年度宮城県後期高齢者医療広域連合一般会計補正予算（第2号）

・議案第6号 令和5年度宮城県後期高齢者医療広域連合一般会計補正予算（第2号）

・議案第7号 令和5年度宮城県後期高齢者医療広域連合一般会計補正予算（第2号）

・議案第8号 令和5年度宮城県後期高齢者医療広域連合一般会計補正予算（第2号）

・議案第9号 令和5年度宮城県後期高齢者医療広域連合一般会計補正予算（第2号）

・議案第10号 令和5年度宮城県後期高齢者医療広域連合一般会計補正予算（第2号）

・議案第11号 令和5年度宮城県後期高齢者医療広域連合一般会計補正予算（第2号）

・議案第12号 令和5年度宮城県後期高齢者医療広域連合一般会計補正予算（第2号）

・議案第13号 令和5年度宮城県後期高齢者医療広域連合一般会計補正予算（第2号）

・議案第4号 令和5年度宮城県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）

・議案第6号 令和6年度宮城県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計予算

・議案第7号 令和6年度宮城県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計予算

・議案第8号 令和6年度宮城県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計予算

・議案第9号 令和6年度宮城県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計予算

・議案第10号 令和6年度宮城県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計予算

・議案第11号 令和6年度宮城県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計予算

・議案第12号 令和6年度宮城県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計予算

・議案第13号 令和6年度宮城県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計予算

・議案第14号 令和6年度宮城県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計予算

・議案第15号 令和6年度宮城県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計予算

・議案第16号 令和6年度宮城県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計予算

・議案第17号 令和6年度宮城県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計予算

・議案第18号 令和6年度宮城県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計予算

・議案第19号 令和6年度宮城県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計予算

・議案第20号 令和6年度宮城県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計予算

議会報告会を開催しました

ご参加ありがとうございました

令和5年度議会報告会を開催しました。全地区あわせて185人の方にご参加いただきました。議員一同、心から感謝いたします。また、報告事項と各行政区からの要望や提言は、これらを整理し、町に提出いたします。

報告事項

- 各常任委員会の所管事務調査
- 総務経済常任委員会
- 「太陽光発電施設の現状把握と課題について」
- 教育民生常任委員会
- 「小中学校の安全対策について」

班体制

第1班

- 班長 阿部幸夫
- 菅野隆二・赤間幸夫・小澤陽子
- 色川晴夫

第2班

- 班長 櫻井靖
- 米川修司・桜井ていこ・後藤良郎
- 高橋利典

第3班

- 班長 片山正弘
- 中島一都・高橋幸彦・今野章

行政区および実施日

() 内は参加者数

第1班

報告会

- 手樽区 (18人)
令和5年11月11日 (土)
午後5時半～7時
- 桜渡戸区 (10人)
令和5年11月12日 (日)
午後1時半～3時
- 本郷区 (24人)
令和5年11月18日 (土)
午前10時半～11時半
- 松島区 (16人)
令和5年11月20日 (月)
午後6時～7時半

第2班

報告会

- 北小泉区 (10人)
令和5年11月4日 (土)
午後6時～7時半
- 高城区 (20人)
令和5年11月10日 (金)
午後5時半～7時半
- 幡谷区 (20人)
令和5年11月12日 (日)
午後6時～7時半
- 下竹谷区 (10人)
令和5年11月18日 (土)
午後6時半～8時

第3班

報告会

- 根廻区 (13人)
令和5年11月5日 (日)
午後1時～2時45分
- 上竹谷区 (13人)
令和5年11月5日 (日)
午後5時～6時25分
- 初原区 (13人)
令和5年11月19日 (日)
午後3時～4時15分
- 磯崎区 (18人)
令和5年11月26日 (日)
午後6時～7時55分



議会報告会の様子

各行政区からの

要望・提言 (抜粋)

- 空き家や空き店舗が増えない対策をしてほしい。
- 高齢化・人口減が進んでいるので町民バス等の利便性を高めるなど地域振興策を考えてほしい。
- 有害鳥獣対策 (イノシシ・シカ等) の強化に向けて電気柵等の設置について町の補助を考えてほしい。
- 町道の白線の引き直しや舗装補修をしてほしい。
- 手樽防災センター前の道路冠水を解消してほしい。
- 指定通学路の歩道設置。
- 高齢で草刈りが難しいので地域と共に対策を検討してほしい。
- 学校の安全対策 (車止めの設置、防犯カメラの設置、通学路上でのスピード運転の制御等)。
- 運動公園のトイレを洋式にしてほしい。
- 松島交番付近の渋滞解消策。
- 松島駅内の昇降機の設置。
- 騒音対策 (名籠地区)。
- 吉田川の越水箇所のかさ上げ
- 仙台松島線の歩道整備工事の早期着手等。
- 桜渡戸地区の自転車専用道路の舗装補修と土側溝を改善してほしい。

次回

第2回 定例会

6月6日(木)

開催予定

- ▶ 傍聴は役場庁舎1階の「町民の部屋」でも視聴できます
- ▶ 議場で傍聴される方は住所と氏名の記入をお願いします

議会情報はここからどうぞ

まつしま議会だより
バックナンバー

こちらから



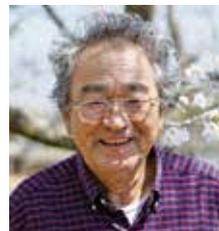
松島町議会
ホームページ

こちらから



町民インタビュー

議会だより表紙に各地区の活動を紹介します。今回は上竹谷分館の分館長にインタビューしました。



上竹谷分館分館長

あべ よしあき
阿部 喜明 さん

お花見会（表紙写真）は毎年開催しているのですか。

コロナの影響もあり4～5年ぶりの外での開催なのでみんなワクワクしています。

上竹谷地域の特徴を教えてください。

横の繋がりが強く、困っている人がいればみんなが手助けしてくれる地域です。

松島の自慢できるポイントを教えてください。

季節ごとに楽しめる場所がたくさんあるところ。各地域に根付いた特色のある分館活動も盛んです。

議会に対してのご要望やご意見をお聞かせください。

みんなのために常々頑張ってもらっているので不平不満はないです。

編集後記

5月といえば私の中では鯉のぼりをイメージします。幼い頃は父親が家の庭に飾ってくれた鯉のぼりを何時間も眺めていたものです。

諸説ありますが、鯉のぼりは鯉が滝を登って龍に代わるという中国のお話に由来しています。このお話には困難を乗り越えて成長する強さの象徴が込められています。

さて、今回の定例会では令和6年度の予算案について審議されました。一般会計当初予算は62億1,600万円。昨年度と比べると4・3%の減となりました。厳しい状況ではありますが、清流だけでなく沼でも池でも生きられる生命力の強い鯉のように、松島が困難を乗り越えて成長できるよう不撓不屈の精神で精進します。

（菅野 隆二）

広報広聴常任委員会

- 会長 櫻井 靖
- 副会長 桜井ていこ
- 委員長 菅野 隆二
- 委員 米川 修司
- 委員 中島 一都
- 委員 小澤 陽子
- 委員 高橋 利典